

2001 年にホーム転落者救助に身を捧げた韓国人留学生李秀賢^{イ ス ヒョン}氏の 想いを継いだ 25 年にわたる交流事業

～今年も 1 月 21 日から 15 日間、日韓交流の懸け橋をめざす韓国の高校生が来日～

国際交流基金（JF）は、2001 年 1 月 26 日に JR 新大久保駅で線路に落ちた日本人を助けようとして犠牲になった、韓国人留学生の李秀賢（イ・スヒョン）氏の遺志を継ぎ、将来の日韓交流を担う韓国の高校生を対象とする研修を実施しています。2002 年の開始以来、毎年継続してきた本事業は、**今年度で 25 回目**を迎えます。

今回の参加者は、日本語を学習し、日本に関心をもつ韓国の高校生 18 名です。日本の高校生や大学生との交流を通じて、日本文化や社会への理解を深め、将来の日韓関係について若者の視点から考えます。

1 月 21 日から 2 月 4 日まで日本に滞在し、**1 月 23 日（金）は故人の母校である赤門会日本語学校を訪問後、11 時から新大久保駅で追悼**を行います。その後、関西において、稲川右樹先生（帝塚山学院大学准教授）をモデレーターに迎え、日本の高校生との「日韓高校生未来プロジェクト」を実施します。

本年度の実施により、累計の参加者は 490 名を超えます。研修をきっかけに、より一層日本に関わりたいと考える参加者も多く、大学の日本関係学科に進んだり、日本へ留学や就職をしたりと、両国の懸け橋として活躍しています。下記の日程でご取材いただけますので、広報担当までご連絡ください。



赤門会日本語学校訪問



日本文化体験（京都友禅染）

記

事業名称：李秀賢氏記念韓国青少年訪日研修

主催：国際交流基金 関西国際センター

開催日程：2026 年 1 月 21 日（水）～2 月 4 日（水）の 15 日間 ※1 月 22 日～23 日は東京滞在

1 月 23 日（金）9 時 赤門会日本語学校訪問、11 時 JR 新大久保駅での追悼（東京）

1 月 24 日（土）日本の高校生との交流会（大阪）

1 月 25 日（日）大阪府立佐野高等学校生徒及び近隣の家庭へのホームビジット（大阪）

1 月 28 日（水）大阪府立佐野高等学校訪問・生徒との交流（大阪）

1 月 31 日（土）～2 月 1 日（日）日本の高校生との協働プロジェクト（大阪）

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

協力 : 学校法人新井学園 赤門会日本語学校、特定非営利活動法人 LSH アジア奨学会、
大阪韓国文化院、大阪韓国教育院、大阪府立佐野高等学校

イ ス ヒョン

李秀賢氏について

2001 年 1 月 26 日夜、JR 新大久保駅でホームから転落した日本人男性を助けようと、2 人の男性が線路に飛び降りました。1 人は日本人カメラマンの関根史郎さん（当時 47 歳）、そしてもう 1 人が、韓国人留学生の李秀賢さん（当時 26 歳）でした。進入してきた電車に間に合わず、3 人とも命を落としてしまいましたが、この痛ましい事故は当時、日韓両国で大きく報道され、国を超えた李さんの勇気ある行動に賞賛の声が集まりました。新大久保駅には顕彰碑が設けられています。

以上

本プロジェクトについて、同行またはオンラインによる取材・参加者へのインタビューが可能です。
詳しくは、国際交流基金（JF）ブランド推進部 広報課 press@jpf.go.jp までご連絡ください。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp